JForest

能登森林組合だより

第9号

平成29年9月発行

ハーベスタ

フォワーダ

プロセッサ

スイングヤーダ

生産量拡大に向け活躍する林業機械たち

■編集・発行 能登森林組合

■総　務　部　〒927-0023　石川県鳳珠郡穴水町字麦ヶ浦17字5番地
■本所事業部　TEL 0768-52-0316／FAX 0768-52-8178
E-mail　h-shinrin@hyper.ocn.ne.jp

輪島支所
〒928-0011
輪島市杉平町1字1番地の1
TEL（0768）22-2452
FAX（0768）22-0996
・門前事業所　門前町清水13-6
TEL（0768）42-1312
・木材加工所　山岸町イ-73
TEL（0768）22-9776

能登支所
〒928-0331
能登町字柳田仁部39番地
TEL（0768）76-1231
FAX（0768）76-1230
・宇出津事業所
能登町字宇出津口字151番地
TEL（0768）62-0231

珠洲支所
〒927-1214
珠洲市飯田町7の129番地
TEL（0768）82-0674
FAX（0768）82-6194

平成二十九年度通常総代会開催される

六月二十一日（水）午前十時より柳田開発センターにおいて第八回通常総代会が開催されました。

開会に先立ち表彰授与式が行われ、次の方々が表彰をうけました。

◇三十年勤続表彰（県知事表彰・県森林組合連合会長表彰）

古坊勝利・森谷三代一（本所）

◇二十年勤続表彰（県森林組合連合会長表彰）

山本康代（本所）

また、来賓を代表し、奥能登農林総合事務所・橋本所長、森林研究・整備機構金沢水源林事務所・西所長及び県森林組合連合会・森本専務よりご祝辞を頂き、議長に珠洲市蛸島町の上野武守さんが選出され、提案された議案すべて原案通り可決、承認されました。

可決承認された議案は次の通りです。

第一号議案　平成二十八年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書について

第二号議案　平成二十九年度事業計画設定について

第三号議案　平成二十九年度役員報酬の決定について

第四号議案　平成二十九年度貸付金の最高限度並びに貸付金利率の決定について

第五号議案　平成二十九年度借入金の最高限度の決定について

第六号議案　平成二十九年度余裕金預入先金融機関の決定について

第七号議案　定款の一部変更について

第八号議案　規程の制定について

第九号議案　JForest森林・林業・山村未来創造運動方針について

附帯決議

ホームページを開設しました！

九月一日に能登森林組合公式ホームページを開設しました。

能登の森づくりに関するフレッシュな情報を提供していきたいと思います。

組合員の皆様はもとより多くの方々へ情報発信したいと考えており、幅広く情報を収集させて頂きたいと思いますので、ご協力お願いします。

ホームページアドレスはhttp://notomori.net/です。（スマートフォンなどでも閲覧可能です。）

また、木材市況や今年度通常総代会に承認頂いた平成二十八年度決算報告書（貸借対照表、損益計算書等）も掲載してありますのでご覧下さい。

『先ずは連携から』

参事　細田哲夫

森林組合を取巻く状況と果たすべき役割・今後何をすべきかについて、県内四組合と県森連が平成二十七年七月に「合併研究会」を設置し、主に（一）林家の意向調査と取りまとめ（二）林家の林業収入増に向けた皆伐施業実証による試算調査研究等を木材流通における先進地の現況も踏まえ作業部会において協議をかさねてきました。

（一）については、①所有林の現況について②皆伐施業収入一・〇ha当りの希望額について③一県一組合の合併について④森林組合に対する要望についてなど、一〇〇名（一組合二五名）の組合員に直接聞き取りアンケートを実施し、**能登森林組合管内**の調査結果として、①皆伐時の希望額は一・〇ha当り、三〇〇万円以上又は価格次第との回答が三〇％で、（他の組合においても価格次第との回答については、「皆伐は次世代の事を考慮すると伐採はしたくない」とのニュアンスが含まれるとの見解。）伐採しない又は分からないとの回答が四五％となった。③一県一組合への合併構想については七二％が反対回答で、その他多数意見として、「全ての部門において、もう少し議論する必要がある。」との回答でした。

また、④森林組合への要望等については、二五名中四名が「森林境界の明確化促進」とされ、他意見としては事業、指導、組織・体制に対して多岐に渡っての要望やご意見を頂きました。

（二）については、四組合の森林施業プランナー資格職員が同一条件で試算見積を実施した結果、当初皆伐施業における収入目標をha当り五〇〇万円としていたが現時点での費用を差引いた収入見積は最高額でha当り約一五〇万円となった。また、皆伐施業の実施にあたっては再造林と最低限の保育管理経費も、含めた試算並びに実証を必須とするとの統一認識結果となった。

作業部会はこれらの結果を合併研究会へ提言報告し、研究会は今回の組合員の多数意見と要望並びに、県下各組合の組織基盤強化に伴う課題や問題点の改善策に対応するには、**先ずは連携**して協議すべく情報共有の場が肝要として、昨年十月に「森林組合合併研究会」から「森林組合連携協議会」に改称し、規約の第一条（目的）も『石川県内の森林組合が目標とする一県一組合の実現を図る為、合併するために必要な調査、研究、合併推進の検討を行う』から『石川県の森林組合が連携し、組合員の林業所得拡大を図る為、県産材の生産性向上、流通コストの低減、安定供給等組織基盤強化方策の検討を行う』に変更されました。

連携協議の第一弾として、昨年秋から春にかけて中能登管内において約一・五haの皆伐・再造林の実証施業に向けた現地での調査研修を行い、各組合が皆伐後の再造林と植栽後の保育管理までを見積した提案会が開催され、今回の皆伐実証施業結果は再造林経費を差引いても収益はある事が実証されました。

この実証は、樹種や林分の状況、地理的環境及び実施時期により収益が大きく左右されることから、今年の秋には、能登森林組合管内に於いて二・〇haの皆伐実証を実施する事が決定しており、今回から事前調査コストの低減を図るべく、石川県の協力を得てドローンを活用し提案見積を行っています。この実証データを基に県下の組合が連携して情報共有及び協議することにより、生産性の向上と林家の所得拡大に繋げて行きたいと考えております。

いしかわ森林環境基金事業の取組成果

へぇ～そうなんだ
（機能貢献成果その１）

Q1　年間の二酸化炭素削減量は？
A1　普通車6万7千台に相当！！
Q2　年間に供給される1.2万トンの酸素量とは？
A2　48万2千人分（ちなみに金沢市人口：46.6万人）の呼吸量に相当！

1　手入れ不足人工林の整備

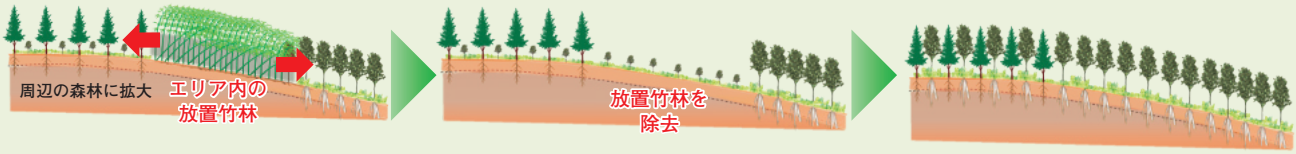
不在村者等により未整備となっている約1,000haと、整備開始から10年が経過するなか、新たに発生した約2,000haの手入れ不足人工林を解消するため、これまでと同様に強度の間伐（本数割合で40％以上）を実施し、健全な針広混交林へ誘導することで、森林の有する公益的機能の維持・増進を図る。

2　森林の公益的機能の低下をもたらす放置竹林の除去

放置竹林のうち、山地災害防止、水源かん養機能を確保することが、特に必要なエリア※の放置竹林（約1,200ha）を優先的に除去し、健全な広葉樹林への転換を促すことで森林の有する公益的機能の回復を図る。

※県の地域森林計画に基づき市町が策定した森林整備計画の中で
①下流域に人家等の保全対象がある森林
②上水道や簡易水道の集水域となっている森林

〈竹林対策のイメージ図〉

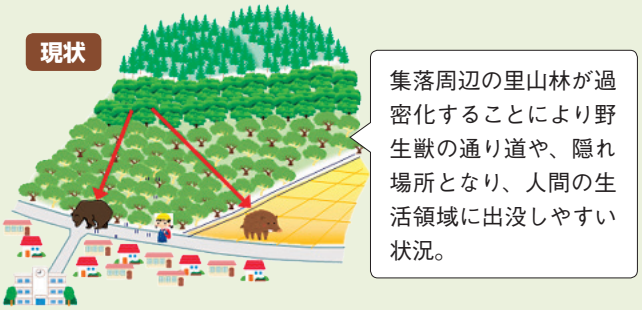


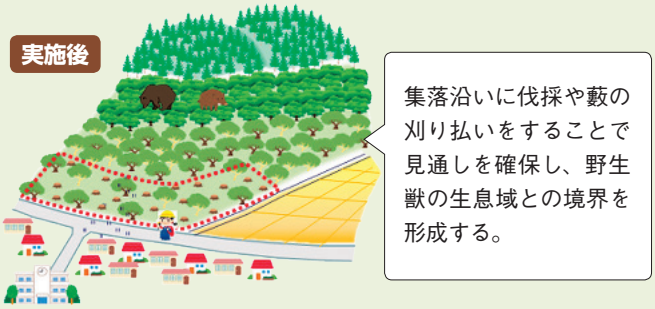
3　クマ、イノシシなどの野生獣の出没を抑止するための緩衝帯整備

学校等の公共施設や住宅地の周辺など緊急性が高い地区を優先に、クマの出没やイノシシ等による農林被害の多い箇所100地区（約600ha）において、緩衝帯整備※を実施し、集落と野生獣の生息域との境界を形成することにより、県民の安全・安心な生活の確保を図る。

※森林の見とおしを良くする伐採や藪の刈払い等

また、整備箇所の適切な維持管理を図るため、地域住民と森林ボランティアが協働して整備を行う取り組み等も検討が必要。





【今後の取組み】

事業の促進継続が決定した第３期（H29～33年度）からは、「里山の課題」とされているクマやイノシシ等の野生獣が集落へ出没するケースが増加し、安全な生活環境への脅威となっている事や、農産物への被害も増加していることなどから、荒廃により野生獣の生息域と集落との緩衝帯機能が低下した里山林を再生すべく［緩衝帯整備］メニューが追加されました。

県民参加の森づくりメニュー（環境実感ツアーなど）にも参加頂き、緑の県土保全に組合員各位のご協力をお願い致します。

事動 人異

定期の人事異動により、職員の配置が変わりましたのでお知らせします。

［平成二十九年四月一日付］

本所

参事　細田　哲夫

［総務課］

総務部長（兼総務課長）　中本　幸夫

係長　吉村美代子

書記　山本　康代

〃　谷口　陽菜（新採）

［事業課］

事業部長（兼事業課長）　古坊　勝利

係長　万砂　理恵

［穴水担当課］

課長　森谷三代一

課長補佐（事業課兼）　谷　昌俊

技師　山田峻伊智

書記（事業課兼）　船本　彩菜（新採）

嘱託職員　神崎　智子

輪島支所

支所長　春木　正司

課長補佐　泉　健一

〃　坂本　博秋

技師　出口　光広

〃　熊野　出海

書記　山下　千秋

〃　古倉　陽子

嘱託職員（検査担当）　瀬例　敏之

［門前事業所］

課長補佐　江端　辰男

係長　竹田　正平

〃（木材加工所担当）　田中　亨英

嘱託職員　表　啓子

能登支所

支所長　滝平　義弘

課長補佐　槻　繁治

技師　藤村　真行

〃　石川　裕弥

書記　山本真木子

書記　高木　明美

［宇出津事業所］

嘱託職員　安宅まゆみ

珠洲支所

支所長　山崎　浩伸

係長　中　俊裕

技師　名竹　和規

〃　岡本　純

〃　地原　弘貴（新採）

書記　太佐　美佳

退職

［宇出津事業所］

嘱託参与　尻田　武

［本所事業課］

書記　平岡美代子

※本年三月末を以て定年退職されました。これまでのご功労に敬意を表し、今後のご健勝とご発展をお祈りします。

募集

フォレストワーカー（林業作業員）

森林の健全な育成と木材安定供給の為、人材を募集します。

特に、二〇代の若者から五〇代の元気なシニアの方を歓迎します。

未経験の方も必要な技術を学んでもらいキャリアアップしていきましょう！

（加入保険）

健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、林退共等

『我が支所のイチ押し』

穴水地区の取り組み

穴水本所のイチ押しは環境間伐事業です。穴水管内では森林整備が行き届いていない山林が多くあるのが現状となっています。

環境間伐事業は手入れ不足林をいしかわ森林環境税を使い間伐する事業です。

いしかわ森林環境税とは、森林の多くの公益機能が将来へと続くようにと県民の理解のもと導入されました。これを活用し森林所有者の費用負担なしで行う事業となっています。

この事業は森林の境界が明確になりますので、組合員の皆様の山を後生に伝えて行って欲しいと思います。

さらに間伐を行う事で健全な森林に成長し、森林の公益的機能（土砂災害や天災防止、生物の多様性の保全）も発揮する事ができます。

またこの事業では、人工林に侵入した竹を除去する整備も行っています。

せっかくのスギやアテが竹によって成長を妨げられていませんか？ 整備する事によって健全な森林に成長します。

自分の山林に目を向けて、そして後生に範を示すような山林を残してみませんか？

私たちに気軽に相談して下さい。

本所穴水担当課長　森谷三代一

輪島支所の取り組み

組合員の皆様には、日頃より事業の委託等、支所運営にご協力を賜わり深く感謝いたしております。

さて、ここ近年は集約化施業による利用間伐を推進しておりますが、集約化施業の根底となるのが低迷する木材価格に合わせた生産コスト低減であり、一台数役の機能を持つ高性能林業機械を駆使し、安全性を担保しながら一現場毎に集約化の目的意識をもって施業を実施しております。

作業を進めて行くと共に刻々と変化する（材の大小、地形、天候、等）環境にある林業は、特に安全確保としての各作業手順の遵守とリスクアセスメントの実行が欠かせません。輪島支所では、作業技術員と役職員が一丸となって災害防止に取組み八月二十八日現在で連続八〇〇日の無災害日数を更新中です。

生産性と安全性の向上を目標とし、当支所の本年度六月末の生産量は約四三〇〇㎥で、㎥当り約一万三千円となっています。これは、管内の組合員が代々スギと共にアテ「能登ヒバ」を植栽管理され、中でも枝打ち管理を適切に実施されてきた賜であると実感させられています。

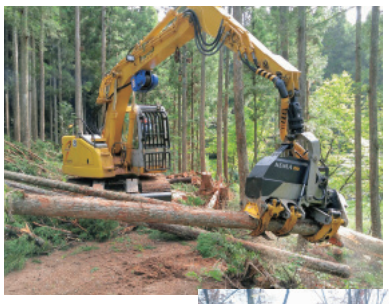
集約化においても、無理なく施業提案並びに施業実施を可能にする優良材が林立する森林の存在と、代々にわたり保全管理されて来た歴史の中で「高く綺麗な切り口の枝打ち」や「手間のかかる能登ヒバの植栽、保育管理」が、一林家の経済性の向上ではなく、公共性の象徴としての、生産意欲や産業の安全性に寄与し、循環型皆伐林業を可能にする『イチ押し』だと思います。

輪島支所長　春木　正司

能登支所の取り組み

組合員の皆様方には、森林整備のご協力に各段のご理解とご協力を頂きありがとうございます。平成二十八年度事業もお陰様で①利用間伐五一・一六ha②天然林更新伐一四・五三ha、環境伐八九・八九ha、竹林整備一一・〇九haの整備面積を施業し、③組合員の皆様方の山より間伐させて頂き搬出しました木材は六六三四・五七四㎥になり、少しずつではありますが、組合員の皆様に目で見える形となってきています。平成二十九年度の能登支所管内の森林整備の計画は利用間伐五六ha、天然林更新伐一四ha、環境伐六〇ha、竹林整備二五haの整備計画をしております。また組合員の皆様方の山からの搬出材は五三二〇㎥計画しており木材の安定供給体制の構築の為、一層のご協力をよろしくお願い致します。また今年度計画に若干の余裕がありますので、作業申込等能登支所までご連絡頂ければ提案させて頂きます。

能登支所長　滝平　義弘



利用間伐
（高性能機械）

更新伐
（高性能機械）

木材写真
（土場積み）

珠洲支所の取り組み

提案型集約化による利用間伐は着実に事業量を増加させています。特に搬出材積は前年対比一二五％で増えています。昨年導入した林業機械の活用と、それを扱うオペレーターの技術向上による作業システムの確立が要因です。そして何より森林所有者の方々の集約化施業に対するご理解が一番です。

懸念材料として労働力不足があげられますが、ここ近年はなんとか持ち直しています。今後も雇用の安定に努め持続可能な運営を目指します。

先般、緑の少年団珠洲ブロック交流会が蛸島町鉢ヶ崎にて開催されました。三八名の子供たちが集まり、木工体験などを通じて自然と親しみながら少年団の交流を図りました。子供たちに森林・林業に関心を持ってもらって、一人でも多くの担い手が育つことを願っています。お世話をしていただいた県・市等関係機関の皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。

これからも森林所有者の負託に応えられるよう努めていきますので、よろしくお願い致します。

珠洲支所長　山崎　浩伸

新入職員の紹介

平成二十九年四月一日付 採用

珠洲支所
技師
地原　弘貴
（珠洲市出身）

私が林業に興味を持ったのは、祖父が山の仕事をしていた事もあり林業に携わる仕事がしたいと思い森林組合に入社しました。

森林組合の職員となり、先輩方の仕事ぶりを見て、まだまだ知識と経験不足で覚えることがたくさんありますが、組合員皆様からの要望に応え少しでも良い山にしていけるように、一生懸命頑張っていきたいと思います。

宜しくお願い致します。

本所事業課
書記
船本　彩菜
（輪島市出身）

輪島に戻ってきてから、奥能登の林業に興味がありました。

組合に入社し、わからないことも多いですが毎日先輩方からいろいろなことを教えてもらっています。

豊かな自然を活かしどんどん新しいことに挑戦していきたいです。

一日も早く組合員さんや地域の方々のお役に立てるように頑張りますのでよろしくお願い致します。

本所総務課
書記
谷口　陽菜
（輪島市出身）

組合に入社し、総務課に所属することになりました。新社会人で、わからない事がたくさんありますが、周りの先輩方から一つ一つ丁寧に教えてもらっています。

高校で学んできたことや先輩方から教えてもらった事を活かしながら、一日でも早く仕事を覚えて、組合員の方々のお役に立てるように、明るく元気に頑張りますのでよろしくお願い致します。

お知らせ

出資配当は一・〇%です

平成二十八年度決算に基づく出資配当金は組合員皆さんの御協力によりまして、一・〇%の配当が総代会で決議されました。

配当金の支払いは、出資金一〇万円以上の方については現金振込とし、未満の方については出資予約預かりとさせて頂きます。

出資配当金支払明細書について

能登森林組合では、出資証券の交付は致しませんので、本誌の同封の出資配当金支払明細書で出資金額及び配当額を確認して下さい。

名義変更手続きはお済ですか？

相続や経営委託（山林の相続・贈与ではないが経営管理を父から息子へ引き継いだ等）の場合は組合員名義の変更手続きが必要となります。

◇相続の場合

相続加入手続きとなり、組合員であるご家族が死亡されてから一〇ヶ月以内

・相続人が確定し登記された時点

・登記前の場合は、相続人の分割協議等を証する書類が必要です。

※一〇ヶ月以上経過している場合は、手続きが異なりますので、詳しくは組合にお問い合わせ下さい。

手続きは本所、各支所で受付します。